

ト犧牲ヲウケテ町發展ノタメヨク奉仕シテ居ルモノデアル。
然ルニ先ニ濱出甚兵衛（大阪新町）ノタメ數十町歩ノ出畑ハ數年ノ
後ニ引上ゲラル、ノ余儀ナキニ至リ今ヤ又農業收入ノ唯一ノ基礎タル
畑三十有余町歩全部ガ南大阪土地會社ノタメ強制取上ゲテ追ラレテキ
ル

コノ土地取上ヲ實行サレンカ南加賀屋新出ニハ農耕ノ出畑ハ残りナ
シト稱シテモヨクソノタメ純粹農業ニ從事シテキル六拾戸家族四百五
十人ヲ筆頭トシテ農業ニ多少干係ヲモツモノ六十戸三百人合計百二十
戸家族千人餘ハ明日ヨリ失業ノ地獄ニ追ヒヤラレ餓死ヲ待ツヨリ以外
道ナキ悲慘ナ狀態ヲ呈スルノデアル

ノミナラズ是等農民ガ中堅トシテ維持サレ漸次發展ノ途上ニアル南
加賀屋自体ノ存在ガ危懼ニヤラサレ多クノ小賣商人等モ困難ニ遭遇ス
ルハ必條デアツテ南加賀屋町住民三千余人ノ死活問題デアル。

(二)南加賀屋新出ノ沿革

新出ハ往昔津海ノ一部デアツテ木津川大和川ノ流サレシ土砂ガ堆
積シテ干瀬ノ時ハ干瀬トナツテキタモノデアル。

享保十三年加賀屋甚兵衛ハ大和川右岸ノ海面十町余ノ周圍ニ堤防ヲ築
キ海水ノ侵入ヲ防ギ堤防門ヲ我々ノ祖先ニ提供シテ埋立並ニ開墾ノ業
ニ從事セシメタ、次イテ現在加賀屋町ヲ中心トシテ北島町北加賀屋町
ト稱スル地域ヲ包含ム約四百町歩ニ亘ル海面ノ周圍ニ堤防ヲ築キソレ
ゾレ農民ヲ移住セシメ泥土ノ排除ト埋立並ニ開墾ノ業ニ從ハレメタ
斯クテ農民ハ家族ノ力ニ繼ジテ自費ヲ投ジ努力ヲ盡シテソレソレノ
面積ヲ開墾シ現在ノ如キ美田トシタノデアル

吾々ノ先祖ハ淡路ノ農民デアツテ加賀屋甚兵衛ノ端メニヨリ新出開
墾ノタメ移住シテ來タノデアル

開墾ノ事業タルヤ古今東西ヲ通ジテ重ニ其當初ハ何等ノ收入ナクシ
カモ自然ト墾ヒ莫大ナ資本ト努力ヲ注ガネバナラズ難事業デアル

吾々ノ俸聞エヨレバ加賀屋新出開墾ノ事業ハ吾々ノ祖先ガ神ニ多大